

一見蘚類ト間違へ易イ苔類 (一)

コトヲ期シテキルガ然シ大體ハ三型ニ分レ一ハ羽裂型、一ハ扇裂型、一ハ三裂型デアツテ中ニハ其中間ニ立チ其兩者ヲ連繫スル中間型ノ者モアル

○一見蘚類ト間違へ易イ苔類

(一)

廣島文理科大學

理學士

堀川

芳

雄

我邦内ニ產スル苔蘚類ハ世界中デモ決シテ少クハナク從ツテ苔蘚兩類ノ區別ヲ文字ダケデイクラ詳シク表現シテモ實地ニ採集ヲ試ミル人ニ取ツテハソレ程有益デハナイコトガ多イ、殊ニ我國デハ蘚類ト考ヘラレテ一般ノ採集ヲ逃レテキル苔類ノ一部類ガアツテソノ種類ハ中々ニ多ク今後日本產苔類ノ研究ハ分類上カラモ分布ノ方カラモ主トシテカヽル部類ノ探索ニ俟ツコトガ必要デアリ、又コレラ種類ヲ能ク識ルコトニヨツテ蘚類ト苔類トノ識別モ明白ニスルノニ役立タセンガ爲メニ今後寫眞ヤ圖ニヨツテ述ベルコトニスル

○うつくしはねひけ *Plagiochila pulcherrima* HORIKAWA

植物體ハ幾回モ分岐シテキルノデ一見蘚類ノひめくじやくごけト間違へ易イ美麗ナ一種デ最初日向ノ柳岳ト阿里山カラ採ラレタガ今デハ土佐・紀伊ニモ分布スルコトガ解ツテ來タ
葉ノ緣邊ハ強ク卷イテキテ五—八ヶ許リノ歯ガアル、葉ノ細胞ハ中央部デ幅一六 μ 長サ二二 μ 位デ細胞膜ハ角隅ニテ特ニ肥厚スル、腹葉ハ殆ド基部迄深ク二分スル、早ち異株デ多ク樹皮上ニ生ズル

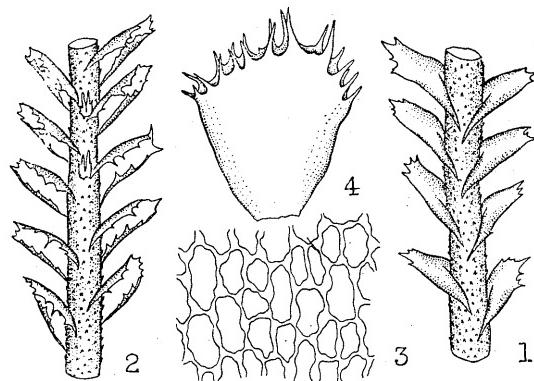
○*Herberta longifissa* (St.) HORIKAWA

植物體ハ剛強デ黒味ヲ帶ビタ赤色ヲ呈シ多數ニ分岐ヲナシテ濕氣ノアル樹皮面ヤ急傾斜ノ岩面ニ密生スルモノデ一寸苔類ノ感ジガシナイ、通常六粒位ノ長サニ達スルガ生エル場所ニヨツテハ更ニ小サイモノモアル、莖ノ横斷面ヲ作ツテ見ルト皮層ニ當ル處ハ四—五層ノ膜ノ厚イ黒褐色ノ細胞カラ出來テキル、背葉ハ密ニ着イテ腹

アル、注目ニ值スルコトハ葉ノ基部カラ先端ノ方へカケ假中肋トモ呼ブベキ長形ノ細胞ノ集リガ走ツテキルコトデ之ハ先端近クデ自然ト消ヘル、背葉ノ細胞膜ハ異常ニ肥厚スルノデ細胞ハ星形ヲ呈スル、假中肋以外ノ細胞ハ一五一二七 μ 位ノ大サデアル、腹葉ハ背葉ニ似ルガ稍小形デ二片ハ真直デ曲ツテキナイ、今日迄下野・相模・伊勢・阿波・伊豫・土佐・日向等ノ山地及ビ臺灣ノ阿里山・大武山カラノ材料ヲ手許ニ所持シテキルガ海



第一圖(甲)

Plagiochila pulcherrima HORIKAWA

第一圖(乙)

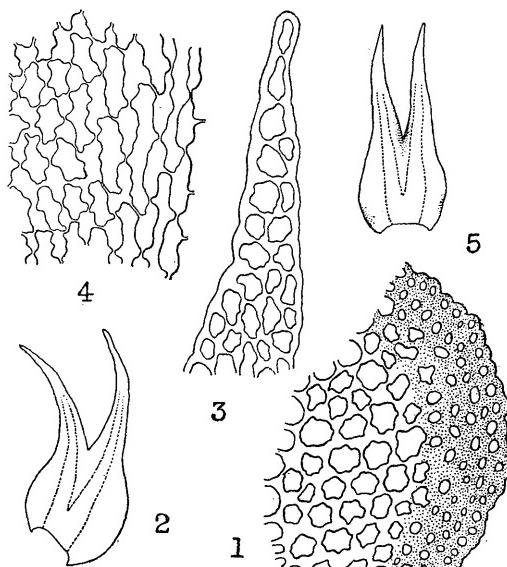
Plagiochila pulchellima HORIKAWA

1. 莖ノ一部(表面) 2. 同上(裏面) 3. 葉ノ細胞 4. 花被
 面ノ方へ
 向ヒテヰ
 ル、針ノ
 シテ檢鏡
 スルト基
 尖デハヅ
 ル
 體中央ア
 部ハ幅最
 タリ迄深
 ク二分シ
 テキテ二
 片共先端
 ハ長ク尖
 リ全縁デ

一見苔類ト間違へ易イ苔類
(一)



第二圖(甲) (實物大)
Herbera longifissa HORIKAWA



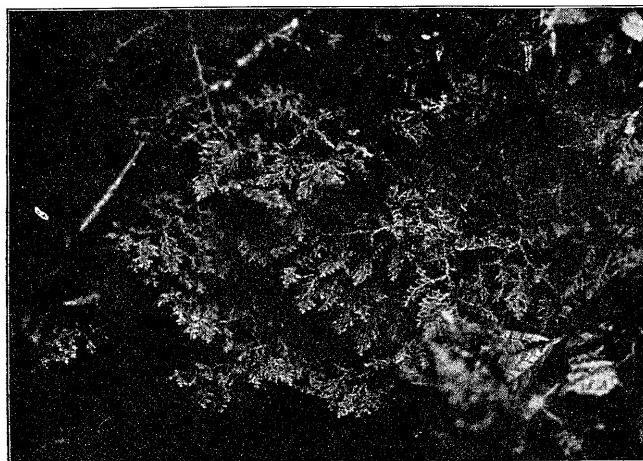
第二圖(乙)

Herbera longifissa HORIKAWA

1. 茎ノ横断面ノ一部
2. 背葉
3. 背葉裂片ノ先端部
4. 細胞
5. 腹葉

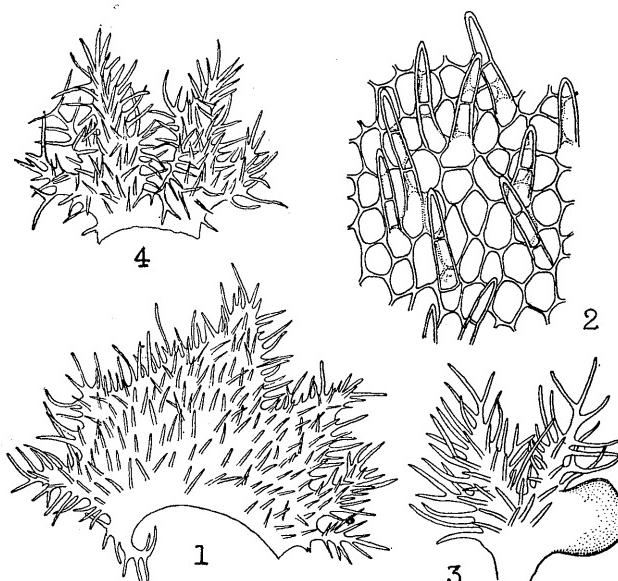
○ *Ptilidium Bissetti* (Mitt.) EVANS

シク四一五回位羽状二分岐ヲスルガ全體トシテ水濕ヲ含ンデムクシテラルノデ初學者ハ野外デ Trichocolea 中々大形ノモノデ一〇糰ヨリ長イモノモ少ナクナイ、規則正外デハヒマラヤ・サモア・タヒチ・ハワイノ諸島ニ分布スルコトガ解ツテキル



第三圖(甲)

Ptilidium Bissetti EVANS (自生地ニテ撮影)



第三圖(乙)

Ptilidium Bissetti EVANS

1. 背葉(背面) 2. 1ノ一部
3. 水囊ヲ着ケタ
背葉(背面) 4. 腹葉

tomentella ト識別シテ採集スルコトハ困難デアラウ、處ガ本種ノ軸ハ黒色デ検鏡スルト背葉ハ圖ニモ示ス通り明ニ葉身トモ云フベキ部分ガアツテ大體中央邊迄二分シ各片ハ更ニ夫々三分シテキル即チ一枚ノ背葉ハ都合大

小ノ六片ニ分レテキルコトニナル、何レノ片モ可ナリ長イ歯毛ヲ具ヘテキルガ尙ホ驚クベキコトニハコノ歯毛ハソノ背面一杯ニ生エテキルコトデ而モコノ歯毛ハ二—三ヶノ細胞カラナツテキルコトデアル、更ニ一層面白イ特徴ハ第三或ハ第四回目ノ小枝ニツク背葉ノ最内面ノ一片ハ兜狀ノ水囊ニ變形シテキルノガ見受ケラレルコトデアル、カヤウニシテコノ植物ハ水分ヲ吸收シ易ク一旦吸タレバ容易ニ失ハレナイ、葉ノ細胞ハ中央部デ幅二三ム長サ三三ム位デ透明ニ近イ、腹葉ハ背葉ノ約半分位ノ大サデ深ク一裂スルガ各片ハ更ニ銳尖ノ長小片ニ分裂、縁邊ヤ外表面ニ多數ノ歯毛ヲ有スルコトハ背葉ト全ク等シイ、本種ハ一八七九年ビセツト氏ニヨリ富士山麓デ初メテ採集サレソノ材料ニ基イテミツテン氏ガ Mastigophora Bisseti トシテ一八九一年ニ發表シタモノデ其ノ後コノ植物ヲ高知師範學校ノ郷野氏ガ土佐ノ工石山ニ得テ米國ノホルチングル氏ニ送ッタガホ氏ハ鑑定スルコトガ出來ナイデエール大學エヴハント教授ヘ送ッタノデ同教授ニヨリ M. Bisseti Mrr. デアルコトガ解ツタノデアルガ Mastigophora 屬ニ見ラレタ特徴ヨリモ Ptilidium 屬ニ近イコトガ調べラレテ現在ニ及ンデキルノデアル、兎ニ角珍奇ナ特徴ヲモツ有名ナ日本固有ナ一種デ今日迄本州・四國・九州ノ深山溪谷カラバカリ知ラレテキル

○杜仲軒赭鞭夜話 (十七)

久 内 清 孝

○しごんがらまつノ心皮ノ色

しごんからまつヲ SIEBOLD ET ZUCCARINI 兩氏ガ記載命名シタ時ノ材料ハ生品デナカツタ爲カ其心皮ノ色ニ言及シテ居ナイ勿論ソンナ事ハ小サイ事實デアルカモ知レナイガ植物ヲ生物トシテ取扱ヒ觀賞スル場合ニハ極メテトハ言ハナイガ相當ニ必要ナコトデアル即簇生モル白色ノ雄蕊束ノ中央ニ心皮ノ紫色ナル雌蕊ガ坐スル爲コ